

令和8年度熊本大学養護教諭特別別科
入学試験問題

看護専門

14時40分～14時00分
(60分)

受験番号	Q
------	---

注意事項

- (1) 解答はすべて解答用紙に書くこと。
- (2) 問題用紙は持ち帰らないこと。
- (3) 体調不良など緊急の場合、監督者に申し出ること。

令和8年度 熊本大学養護教諭特別別科 入学試験問題
看護専門【4枚のうち その1】

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の文章の（ア）から（コ）に最もあてはまる語句を下の枠の中から選んで答えなさい。

小児期における主なアレルギー疾患には、気管支喘息やアトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、食物アレルギーなどがある。気管支喘息の特徴的な症状は、反復する（ア）や咳嗽、（イ）の延長を伴う（ウ）である。これらは、気管支（エ）の（オ）、気道粘膜の（カ）、気道（キ）促進など、可逆的な気流制限により生じる。

また、我が国における食物アレルギーの発症は（ク）期が圧倒的に多い。食物アレルギーにおいて出現頻度が高い症状は（ケ）症状であり、（コ）型である。食物アレルギーと気管支喘息の併存がある小児においては、そのコントロールが重要となる。

乳幼児	学童	遺伝	即時	遅延	皮膚	消化器
粘膜	分泌	ショック	閉塞	浮腫	収縮	呼吸器
拡張	びらん	喘鳴	疲労感	眠気	呼気	吸気
呼吸困難	入眠困難	睡眠	横紋筋	平滑筋	随意筋	不随意筋

II. 次の文章を読み、各問に答えなさい。

看護研究のプロセスでは、理論や根拠をもとにした（ア）・シンキングが求められる。

また、根拠に基づいた看護はEBNとも呼ばれ、直感や（イ）ではなく（ウ）根拠に基づく看護実践をいう。EBNは看護実践の基本となるが、看護を行う上では、患者の（エ）性も十分に考慮する必要がある。

問1. （ア）から（エ）に最もあてはまる語句を答えなさい。

問2. EBNの正式名称をアルファベット、ブロック体で答えなさい。

令和8年度 熊本大学養護教諭特別別科 入学試験問題
看護専門【4枚のうち その2】

Ⅲ. 次の文章を読み、各問に答えなさい。

大規模災害時や多数の傷病者が発生した時の一次トリアージ法として、START法がある。START法では、まず（ア）が可能か、不可能かを判断する。不可能な場合、呼吸→（イ）→（ウ）の順で確認する。具体的には、傷病者を（ア）不可能だと判断したら、次に（エ）の有無を、（エ）があれば呼吸回数、（オ）動脈触知の有無、（カ）反応の順に確認する。

また、災害時や多数傷病者発生事案においては、一般にトリアージ・タグ/トリアージタグを用いて区分を表示する。トリアージ区分は、区分Ⅰから区分Ⅲに分類される。

問1.（ア）から（カ）に最もあてはまる語句をそれぞれの枠の中から選んで答えなさい。

アの選択肢	立位保持	座位	歩行	会話
-------	------	----	----	----

イの選択肢	循環	意識	体温	血圧
-------	----	----	----	----

ウの選択肢	循環	意識	体温	血圧
-------	----	----	----	----

エの選択肢	ビオー呼吸	自発呼吸	喉性呼吸	努力呼吸
-------	-------	------	------	------

オの選択肢	頸	橈骨	大腿	足背
-------	---	----	----	----

カの選択肢	代謝	嚥下	従命	痛覚
-------	----	----	----	----

問2. トリアージ区分で表示されるそれぞれの色を答えなさい。

令和8年度 熊本大学養護教諭特別別科 入学試験問題
看護専門【4枚のうち その3】

IV. 以下は健康増進法（令和7年10月現在施行中）の一部である。それぞれを読み、（ア）から（コ）にあてはまる語句を下の枠の中から選んで答え、法律の条文を完成させなさい。

<第一条>

この法律は、我が国における急速な（ア）の進展及び（イ）の変化に伴い、国民の健康の増進の重要性が著しく増大していることにかんがみ、国民の健康の増進の総合的な推進に関し基本的な事項を定めるとともに、国民の（ウ）の改善その他の国民の健康の増進を図るための措置を講じ、もって国民保健の向上を図ることを目的とする。

<第二条>

国民は、健康な（エ）の重要性に対する関心と（オ）を深め、（カ）にわたって、自らの健康状態を自覚するとともに、健康の増進に努めなければならない。

<第三条>

国及び地方公共団体は、教育活動及び（キ）活動を通じた健康の増進に関する正しい（ク）の普及、健康の増進に関する（ケ）の収集、整理、分析及び提供並びに研究の推進並びに健康の増進に係る（コ）の養成及び資質の向上を図るとともに、健康増進事業実施者その他の関係者に対し、必要な技術的援助を与えることに努めなければならない。

栄養	円安	生活習慣	食べ物	睡眠	消費生活	興味	知識
経済	SNS	人材	考え	疾病構造	価値	理解	知恵
長寿	心身	長年	情報	ロビー	やり方	器具	多面的
広報	基盤	高齢化	心理	開発	生涯	看護師	多岐
円高	少子化	技能	未来	自発的	機材	モデル	応援

令和8年度 熊本大学養護教諭特別別科 入学試験問題
看護専門【4枚のうち その4】

V. 次の文章を読み、各問に答えなさい。

肥満になると、さまざまな病気になるリスクが高まるとされている。個人の肥満の度合いを評価できる方法の一つとして「BMI」と呼ばれる値を算出するやり方がある。BMIは、(ア)(イ) Indexの省略で、①個人の体重と身長で計算できる。「肥満症診療ガイドライン2022」によると、「脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態」で、この計算値が(ウ)以上で「肥満」と定義している。また、「肥満症診療ガイドライン2022」では「肥満があり、肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するが、その合併が予測され、医学的に減量を必要とする病態」を(エ)と定義し、肥満に起因する健康障害のさらなる重篤化を予防しようとしている。一方で、近年、②体重を減らす必要がないにもかかわらず、また健康に悪影響のある方法で減量することが問題視されている。このような行動は、思春期の子どもにもみられ、学校における教育も必要となる。

問1.(ア)、(イ)にあてはまる適切なアルファベットをブロック体の小文字で答えなさい。

なお、解答は、(ア)(イ)とも解答用紙に書かれている頭文字以降に続くものを答えなさい。

問2.(ウ)、(エ)にあてはまる適切な数字や語句を答えなさい。

問3. 下線部①について、身長170 cm、体重60 kgの人のBMIを計算しなさい。なお、計算式も解答用紙に書き、BMIは少数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを答えなさい。

問4. 下線部②について、体重を減らす必要がないにもかかわらず、また健康に悪影響のある方法で減量を試みている中学生3年の女子生徒に対して、あなたならどのようなことを教えることによって、こうした行動をやめさせようとするか、述べなさい。

VI. 次の語句を説明しなさい。

- ア 百日咳
- イ PTSD
- ウ 起立性調節障害